

100-120

問題文

感染防御に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ケモカインは、好中球及びマクロファージを感染局所に誘引するが、好酸球には作用しない。
 2. マクロファージの細胞膜に存在するToll様レセプター(TLR)は、細菌表面の特徴的な構造を認識する免疫グロブリンである。
 3. 好中球のNADPHオキシダーゼにより、スーパーオキシドアニオンが生成する。
 4. 細胞小器官の一つであるゴルジ体は、細菌を取り込んだ食胞(ファゴソーム)と融合し、食胞内の細菌の消化・分解を促す。
 5. インターフェロン(IFN)- γ は、マクロファージを活性化し、その殺菌作用を強化する。
-

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

ケモカインは、白血球などの遊走を引き起こす様々な化学物質の総称です。好酸球の遊走を引き起こすケモカインも存在します。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

TLR と、免疫グロブリンは、別物です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

ちなみにスーパーオキシドアニオンなどを活性酸素と呼びます。好中球の殺菌において中心的な役割を果たします。

選択肢 4 ですが

ゴルジ体ではなく、リソソームについての記述です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 3,5 です。